

心がゆれる――。

ほつれる

加藤拓也(第67回岸田國士戯曲賞受賞)監督作品

門脇麦

田村健太郎 黒木華／染谷将太

監督・脚本 | 加藤拓也

製作 | 映画「ほつれる」製作委員会、コム・デ・シネマ

製作幹事 | メーテレ、ビターズ・エンド

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 

制作プロダクション | フィルムメイカーズ 配給 | ビターズ・エンド

©2023「ほつれる」製作委員会&COMME DES CINÉMA

bitters.co.jp/hotsureru/

平穏に見えた日々が 静かに揺らぎ始めるとき、 彼女の目に映るものとは。

綿子と夫・文則の関係は冷め切っていた。綿子は友人の紹介で知り合った木村とも頻繁に会うようになっていたが、あるとき木村は綿子の目の前で事故に遭い、帰らぬ人となってしまった。心の支えとなっていた木村の死を受け入れることができないまま、変わらない日常を過ごす綿子。夫や周囲の人々との関係に揺れ動く心を抱える綿子は、木村との思い出の地をたどる…。

主演：門脇麦×監督・脚本：加藤拓也 気鋭の演出家と実力派俳優が織り成す、 緊迫感あふれる84分。

主演を務めるのは話題作への出演が続く圧倒的な存在感をみせる実力派俳優・門脇麦。目の前の現実揺れる主人公・綿子の心の機微を繊細に演じあげる。綿子の夫・文則役には、舞台・映画・ドラマとマルチに活躍する田村健太郎。さらに、その存在が大きな転回点となる男・木村を染谷将太、綿子の親友・英梨を黒木華が演じ、絡みあう深甚な人間模様を描き出す。

監督は、第30回読売演劇大賞優秀演出家賞、第67回岸田國士戯曲賞を受賞するなど演劇界で注目を集める気鋭の演出家・加藤拓也。第10回市川森一脚本賞を受賞した「きれいのくに」(21/NHK)をはじめテレビドラマの脚本も手掛ける加藤が、初長編監督映画「わたし達はおとな」を経て、そのリアリティ溢れる台詞まわしで観客の心を揺さぶる静かなる衝撃作を生み出した。

門脇麦

田村健太郎 黒木華 古館寛治

安藤聖 佐藤ケイ 秋元龍太郎 金子岳憲 安川まり

染谷将太

監督・脚本 | 加藤拓也(「わたし達はおとな」)

製作 | 映画「ほつれる」製作委員会、コム・デ・シネマ

製作幹事 | メ〜テレ、ビターズ・エンド

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

制作プロダクション | フィルムメイカーズ 配給 | ビターズ・エンド

©2023「ほつれる」製作委員会&COMME DES CINEMAS

2023年 / 日本=フランス / カラー / 1:1.37 / 5.1ch / 84分

bitters.co.jp/hotsureru/

[@hotsureru_movie](https://twitter.com/hotsureru_movie)

[@hotsurerumovie](https://facebook.com/hotsurerumovie)

ほつれる



9月8日(金)、全国ロードショー

ビターズ・エンド
カード

7/7発売開始

